

世界の下水道

— モンゴル編 —

モンゴルってどんな国？

面積 約156万m² (日本の約4倍)
 人口 約345万人 (静岡県の人口と同じくらい)
 首都 ウランバートル
 民族 モンゴル人 (全体の95%)、カザフ人など
 言語 モンゴル語 (国家公用語)、カザフ語



水環境の改善に向けた 静岡県とドルノゴビ県の交流

静岡県は、平成23年7月に友好協定を締結したモンゴル国ドルノゴビ県からの依頼を受けて、平成24年から現在まで、ドルノゴビ県の水環境の改善に協力しています。



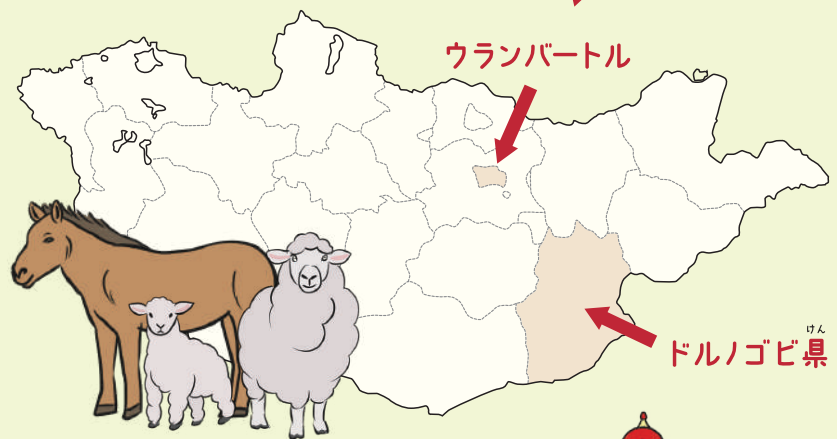
ドルノゴビ県の水環境

ドルノゴビ県は、首都ウランバートルから南東に約450kmほど離れた場所にあり、世界有数の恐竜化石の発掘地でもあります。

ドルノゴビ県では、過去に下水処理施設が建設されましたが、きちんと管理がされなかったことで、施設が壊れて使えなくなっていました。

また地方部では、家庭などで使って汚れた水は、家の近くの地面を掘って作られた池(ラグーン)に溜められて、蒸発したり、地下に浸透させたりしています。

しかし、そのラグーンでは汚れた水があまり浄化されないため、飲み水となる地下水の汚染や、馬や羊、牛、ヤギ、ラクダなどの家畜が汚れた水を飲んでしまい、病気になることなどが心配されています。



ドルノゴビ県サインシャンド郡



静岡県は何をしたの？

静岡県では、ドルノゴビ県民の水環境に関する知識や意識の向上を図るため、現地に職員を派遣したり、モンゴルから研修員を受け入れたりしています。技術者たちは、日本で下水道に関する施設の計画の立て方や施設を運転する知識などを勉強して、モンゴルで生かしています。

ドルノゴビ県では、静岡県のアドバイスを受けながら、2022年8月から下水処理場の試運転が始まりました。これにより、処理場の周辺では、悪臭がなくなり、水環境の改善が進んでいます。



日本での実習



モンゴルでの技術指導



モンゴル各地から技術者が集まる研修会



水環境について学ぶ機会を作った

編集協力：静岡県交通基盤部都市局生活排水課